

ハッチョウトンボ

体長は 16 ～ 20mm で、日本で最も小さいトンボ。名前は名古屋付近の矢田鉄砲八丁目に生息していたことに由来。

ハッチョウトンボはサギソウ湿地とこい岩湿地に生息しています。サギソウ湿地を復元した当初、数匹のハッチョウトンボが生息していました。2016 年には、サギソウ湿地で 100 匹を超える生息数を確認しています。

棲みやすい環境づくり（サギソウ湿地）

	ピーク時の 推定個体数	取組み内容
2010年	数匹	
2011年	数匹	1月：湿地の奥に数箇所穴を掘り、水が溜まるようにした。
2012年	数匹	
2013年	10～20	3月：水の出口に土嚢を置いて、浅い水溜りを造った。
2014年	30～50	2月：溝を木材でせき止め、水が窪地に回るようにした。
2015年	50～70	
2016年	110～130	2月：イノシシが木材を掘り返すので、溝のせき止めを木材から麻の土嚢に変更した。

ハッチョウトンボを増やすために計画的に取組んだわけではないので、個体数の記録は不完全です。



水の出口に土嚢を置く
2013年3月



溝を木材でせき止める
2014年2月



溝を麻の土嚢でせき止める
2016年2月



オス（成熟）



メス（成熟）



オス（未成熟）



メス（未成熟）



オス（羽化直後）



交尾（約 10 秒）



逆立ち（暑さ対策）



産卵（オスはホバリング）